



令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

金抜設計書

業 務 番 号 2026077600

業 務 名 令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

履 行 場 所 加東市岡本地内

兵庫県 加東市

[illegible]

令和8年度

農業競争力強化農地整備事業

岡本地区

令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託
2026077600

金 抜 き 設 計 書

(当初)

加東市

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02115	*** S単－ 1号 *** 測量技師					
	測量技師		人			歩A・単A
S02115	*** S単－ 2号 *** 測量技師補					
	測量技師補		人			歩A・単A
S02115	*** S単－ 3号 *** 測量助手					
	測量助手		人			歩A・単A
S02115	*** S単－ 4号 *** 測量補助員					
	測量補助員		人			歩A・単A
S63005	*** S単－ 5号 *** 測量労務(直接人件費内業)					
	測量労務(直接人件費内業) 0.50人, 0.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63005	*** S単－ 6号 *** 測量労務(直接人件費内業)					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63005	*** S単－ 7号 *** 測量労務(直接人件費内業)					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 3.50人, 7.50人, 2.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63005	*** S単－ 8号 *** 測量労務(直接人件費内業)					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 3.00人, 9.00人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63005	*** S単－ 9号 *** 測量労務(直接人件費内業)					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.50人, 1.00人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63008	*** S単－ 10号 *** 測量労務(直接人件費外業)					
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 2.00人, 4.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63008	*** S単－ 11号 *** 測量労務(直接人件費外業)					
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.50人, 1.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人		式			歩A・単A
S63023	*** S単－ 12号 *** 電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 2, A－4, 200, 5cm, 0		式			歩A・単A
X63002	*** X単－ 1号 *** 精度管理費集計					
	精度管理費集計		式			歩A・単A
T00001	*** T単－ 1号 *** 作業計画					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00002	*** T単－ 2号 *** 現地調査					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00003	*** T単－ 3号 *** 数値図化					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00004	*** T単－ 4号 *** 数値編集					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00005	*** T単－ 5号 *** 補則編集					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00006	*** T単－ 6号 *** 数値地形図データファイルの作成					
	地図情報レベ`#1,000		km2			歩A・単A
T00007	*** T単－ 7号 *** 一筆標高測量					
			ha			歩A・単A

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S02115	測量技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
R04023	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分 測量技師	R04023				
			人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 2号 ***					
S02115	測量技師補		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師補			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
R04024	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分 測量技師補	R04024				
			人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 3号 ***					
S02115	測量助手		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量助手			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
R04025	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分 測量助手	R04025				
			人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 4号 ***					
S02115	測量補助員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量補助員			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
R04032	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分 測量補助員	R04032				
			人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 5号 ***					
S63005	測量労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.50人, 0.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1) 主任技師の人数 2) 技師の人数 3) 技師補の人数 4) 助手の人数 5) 補助員の人数 6) 操縦士の人数 7) 整備士の人数 8) 撮影士の人数 9) 撮影助手の人数 10) 測量船操縦士の人数	0.50人 0.50人 0.50人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人				
R04022	測量主任技師		人			
R04023	測量技師		人			

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04024	測量技師補		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単－ 6号 ***					
S63005	測量労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,0.50人,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.50人 0.50人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人				
R04023	測量技師		人			
R04024	測量技師補		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単－ 7号 ***					
S63005	測量労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,3.50人,7.50人,2.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 3.50人 7.50人 2.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人				
R04023	測量技師		人			
R04024	測量技師補		人			
R04025	測量助手		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単－ 8号 ***					
S63005	測量労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,3.00人,9.00人,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 3.00人 9.00人 0.50人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人				
R04023	測量技師		人			

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04024	測量技師補		人			
R04025	測量助手		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単一 9号 ***					
S63005	測量労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.50人, 1.00人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	人, 0.00人					
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数	0.00人 0.50人 1.00人 0.50人				
	5)補助員の人数 6)操縦士の人数	0.00人 0.00人				
	7)整備士の人数 8)撮影士の人数	0.00人 0.00人				
	9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.00人				
R04023	測量技師		人			
R04024	測量技師補		人			
R04025	測量助手		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単一 10号 ***					
S63008	測量労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 2.00人, 4.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	人, 0.00人					
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数	0.00人 2.00人 4.50人 0.00人				
	5)補助員の人数 6)操縦士の人数	0.00人 0.00人				
	7)整備士の人数 8)撮影士の人数	0.00人 0.00人				
	9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.00人				
R04023	測量技師 外業		人			
R04024	測量技師補 外業		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単一 11号 ***					
S63008	測量労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.50人, 1.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	人, 0.00人					
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数	0.00人 0.50人 1.50人 0.50人				
	5)補助員の人数 6)操縦士の人数	0.00人 0.00人				
	7)整備士の人数 8)撮影士の人数	0.00人 0.00人				
	9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.00人				

[illegible]

[illegible]

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単－ 1号 ***					
T00001	作業計画		km2		1.000 km2	歩A 当たり算出
	地図情報レベル1,000					
S63005	測量労務(直接人件費内業) 0.50人, 0.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[1] S単 5号
Y10004	雑品 集計対象任意指定用 集計対象明細: ([1])	0.075				
	合 計					算出数量 1.000 km2
	単 価		km2			
	*** T単－ 2号 ***					
T00002	現地調査		km2		1.000 km2	歩A 当たり算出
	地図情報レベル1,000					
S63005	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[1] S単 6号
S63008	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 2.00人, 4.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[2] S単 10号
Y10004	雑品 集計対象任意指定用 集計対象明細: ([1]+[2])	0.120				
	合 計					算出数量 1.000 km2
	単 価		km2			
	*** T単－ 3号 ***					
T00003	数値図化		km2		1.000 km2	歩A 当たり算出
	地図情報レベル1,000					
S63005	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 3.50人, 7.50人, 2.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[1] S単 7号
Y10004	雑品 集計対象任意指定用 集計対象明細: ([1])	0.430				
	合 計					算出数量 1.000 km2
	単 価		km2			
	*** T単－ 4号 ***					
T00004	数値編集		km2		1.000 km2	歩A 当たり算出
	地図情報レベル1,000					
S63005	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 3.00人, 9.00人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[1] S単 8号
Y10004	雑品 集計対象任意指定用 集計対象明細: ([1])	0.200				
	合 計					算出数量 1.000 km2
	単 価		km2			
	*** T単－ 5号 ***					
T00005	補則編集		km2		1.000 km2	歩A 当たり算出
	地図情報レベル1,000					
S63005	測量労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.50人, 1.00人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[1] S単 9号
S63008	測量労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.50人, 1.50人, 0.50人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式			[2] S単 11号
Y10004	雑品 集計対象任意指定用 集計対象明細: ([1]+[2])	0.180				
	合 計					算出数量 1.000 km2
	単 価		km2			
	*** T単－ 6号 ***					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
R04005	技師 (B)		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 2号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (C)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
R04006	技師 (C)		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 3号 ***					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
R04007	技術員		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 4号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
R04004	技師 (A)		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単－ 5号 ***					
S60230	基本設計 ほ場整備 (I)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	基本設計 ほ場整備 (I) 難易度補正 I, 58ha, 29, 0.00箇所			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし	
	1) 設計内容 2) 設計対象地区面積 3) 地形勾配の逆数 4) 各種取付点平面位置調査	難易度補正 I 58ha 29 0.00箇所		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
	5) 1-1. 現地調査現地踏査 6) 1-2. 現地調査土壌調査 7) 1-3. 現地調査地耐力調査 8) 1-5. 現地調査道路用排水系統調査 9) 1-6. 現地調査現況施設調査 10) 1-7. 現地調査反復水量調査 11) 1-9. 現地調査補償物件調査 12) 1-10. 現地調査各種施設取付点標高 13) 1-11. 現地調査各種取付点平面位置 14) 2-1. 資料の検討・収集資料の検討 15) 2-2. 資料の検討・収集水文・気象資料 16) 2-3. 資料検討収集集経済効果算定資料	計上する 計上しない 計上しない 計上する 計上する 計上しない 計上する 計上する 計上しない 計上する 計上しない 計上する				

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	17) 3-1. 計画設計諸元検討基準年	計上しない				
	18) 3-2. 計画設計諸元検討排水計画雨量	計上しない				
	19) 3-3. 計画設計諸元検討現況計画減水	計上しない				
	20) 3-4. 計画設計諸元検討区画形状検討	計上する				
	21) 3-5. 計画設計諸元検討道路規模検討	計上する				
	22) 3-6. 計画設計諸元検討計画平面図	計上しない				
	23) 3-7. 計画設計諸元検討面積算定	計上しない				
	24) 3-8. 計画設計諸元検討道路用排水路	計上しない				
	25) 3-9. 計画設計諸元検討計画用水量	計上しない				
	26) 3-10. 計画設計諸元検討用水収支計	計上しない				
	27) 3-11-1. 計画設計諸元検討用水路樹	計上しない				
	28) 3-11-2. 計画設計諸元検討管網管水	計上しない				
	29) 3-12. 計画設計諸元検討計画排水量	計上しない				
	30) 3-13. 計画設計諸元検討排水路水理	計上しない				
	31) 1-1個別補正現地踏査	1.00				
	32) 1-2個別補正土壌調査	1.00				
	33) 1-3個別補正地耐力調査	1.00				
	34) 1-5個別補正道路用排水系統調査	1.00				
	35) 1-6個別補正現況施設調査	1.00				
	36) 1-7個別補正反復水量調査	1.00				
	37) 1-9個別補正補償物件調査	1.00				
	38) 1-10個別補正施設の取付点標高調査	1.00				
	39) 1-11個別補正取付点平面位置調査	1.00				
	40) 2-1個別補正資料の検討	1.00				
	41) 2-2個別補正水文, 気象資料	1.00				
	42) 2-3個別補正経済効果算定資料	1.00				
	43) 3-1個別補正用水計画基準年	1.00				
	44) 3-2個別補正排水計画基準雨量	1.00				
	45) 3-3個別補正現況計画減水深	1.00				
	46) 3-4個別補正区画形状の検討	1.00				
	47) 3-5個別補正道路規模の検討	1.00				
	48) 3-6個別補正計画平面図作成	1.00				
	49) 3-7個別補正面積算定	1.00				
	50) 3-8個別補正道路用排水路縦断計画	1.00				
	51) 3-9個別補正計画用水量	1.00				
	52) 3-10個別補正用水収支計算	1.00				
	53) 3-11-1個別補正用水路樹枝状管水路	1.00				
	54) 3-11-2個別補正管網管水路	1.00				
	55) 3-12個別補正計画排水量	1.00				
	56) 3-13個別補正排水路水理計算	1.00				
R04003	主任技師		人			
R04004	技師 (A)		人			
R04005	技師 (B)		人			
R04006	技師 (C)		人			
R04007	技術員		人			
	内業					
	合 計					算出数量 1,000 式
	単 価		式			
	*** S単- 6号 ***					
S60231	基本設計 ほ場整備(Ⅱ)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	基本設計 ほ場整備(Ⅱ)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	難易度補正 1, 58ha, 29, 0.0km, 0箇所, 0箇所, 0箇所					
	1)設計内容	難易度補正 1				
	2)設計対象地区面積	58ha				
	3)地形勾配の逆数	29				
	4)送水管路延長	0.0km				
	5)農道橋梁工	0箇所				
	6)水管橋工	0箇所				
	7)県町村道横断工	0箇所				
	8)河川放流工	0箇所				
	9)4-1. 施設設計道路等標準断面図作成	計上しない				
	10)4-2. 施設設計附帯施設設計	計上しない				
	11)4-3. 施設設計整地計算	計上しない				
	12)4-4. 施設設計暗渠排水施設設計	計上しない				
	13)4-5. 施設設計数量計算	計上しない				
	14)6-1. 送配水管路工水理・構造計算	計上しない				
	15)6-2. 送配水管路工附帯工設計	計上しない				
	16)6-3. 送配水管路工数量計算	計上しない				
	17)7-1. 農道橋梁工設計図作成	計上しない				
	18)7-2. 農道橋梁工数量計算	計上しない				
	19)8-1. 水管橋工設計図作成	計上しない				
	20)8-2. 水管橋工数量計算	計上しない				
	21)9-1. 県町村道横断工設計図作成	計上しない				
	22)9-2. 県町村道横断工数量計算	計上しない				
	23)10-1. 河川放流工設計図作成	計上しない				
	24)10-2. 河川放流工数量計算	計上しない				

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	25) 11. 概算工事費積算	計上しない				
	26) 13-1. 計画概要等作成添付図面作成	計上しない				
	27) 13-2. 計画概要等作成添付図面着色	計上しない				
	28) 13-3. 計画概要書作成	計上しない				
	29) 13-4. 事業計画書作成	計上しない				
	30) 14. 照査	計上する				
	31) 15. 点検取りまとめ	計上する				
	32) 4-1個別補正道路水路標準図作成	1.00				
	33) 4-2個別補正附帯施設設計	1.00				
	34) 4-3個別補正整地計算	1.00				
	35) 4-4個別補正暗渠排水施設設計	1.00				
	36) 4-5個別補正施設設計数量計算	1.00				
	37) 6-1個別補正送配水管水理構造計算	1.00				
	38) 6-2個別補正送配水管附帯工設計	1.00				
	39) 6-3個別補正送配水管数量計算	1.00				
	40) 7-1個別補正農道橋梁工設計図作成	1.00				
	41) 7-2個別補正農道橋梁工数量計算	1.00				
	42) 8-1個別補正水管橋工設計図作成	1.00				
	43) 8-2個別補正水管橋工数量計算	1.00				
	44) 9-1個別補正県町村道横断工図作成	1.00				
	45) 9-2個別補正県町村道横断数量計算	1.00				
	46) 10-1個別補正河川放流工設計図作成	1.00				
	47) 10-2個別補正河川放流工数量計算	1.00				
	48) 11個別補正概算工事費積算	1.00				
	49) 13-1個別補正添付図面作成	1.00				
	50) 13-2個別補正添付図面着色	1.00				
	51) 13-3個別補正計画概要書作成	1.00				
	52) 13-4個別補正事業計画書作成	1.00				
	53) 14個別補正照査	1.00				
	54) 15個別補正点検取りまとめ	0.20				
R04003	主任技師		人			
	内業					
R04004	技師 (A)		人			
	内業					
R04005	技師 (B)		人			
	内業					
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単ー 7号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			深夜時間:0.0	時間の制約:なし	
	1)設計工種	一般工種		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師		人			
R04004	技師 (A)		人			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			
	*** S単ー 8号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			深夜時間:0.0	時間の制約:なし	
	1)設計工種	一般工種		制約作業時間:0.0	夜間制約作業時間:0.0	
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04004	技師 (A)		人			
R04005	技師 (B)		人			
	合 計					算出数量 1.000 回

事業名	農業競争力強化農地整備事業 岡本地区
業務名	令和8年度 農業競争力強化農地整備事業 岡本地区整備計画策定業務委託

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		回			
	*** S単- 9号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 2. A-4, 500, 5cm, 0			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)報告書部数(部)	2.000				
	2)規格区分	A-4				
	3)枚数区分(枚)	500				
	4)厚さ区分	5cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピー)					
	A-4以下 500枚	2.000	部			
P43542	簡易加除式ファイル					
	A4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	2.000	冊			
P43602	CD-R					
	CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単- 10号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務、着手前・最終、通勤により打合せ、ライトバン、1日、2時間			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	2時間				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
M28121	ライトバン[ガソリン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L		日			
P34001	ガソリン					
	JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			
	*** S単- 11号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務、中間、通勤により打合せ、ライトバン、1日、2時間			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				

[illegible]

数量総括表(整備計画策定業務)

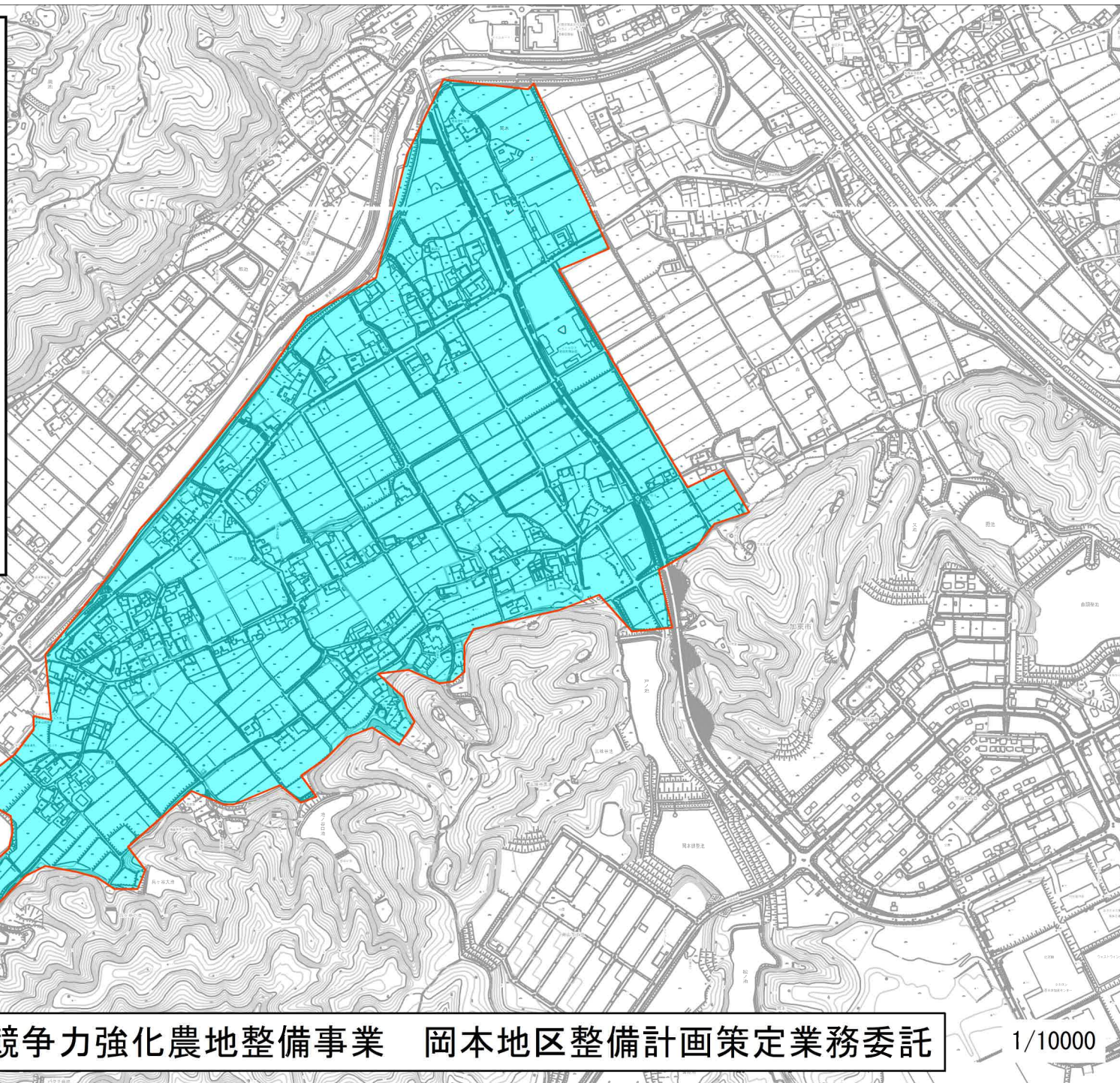
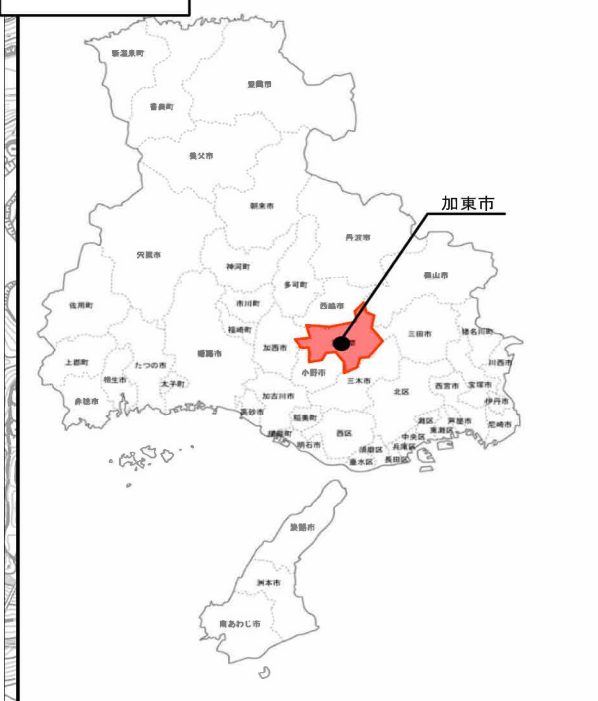
・設計業務

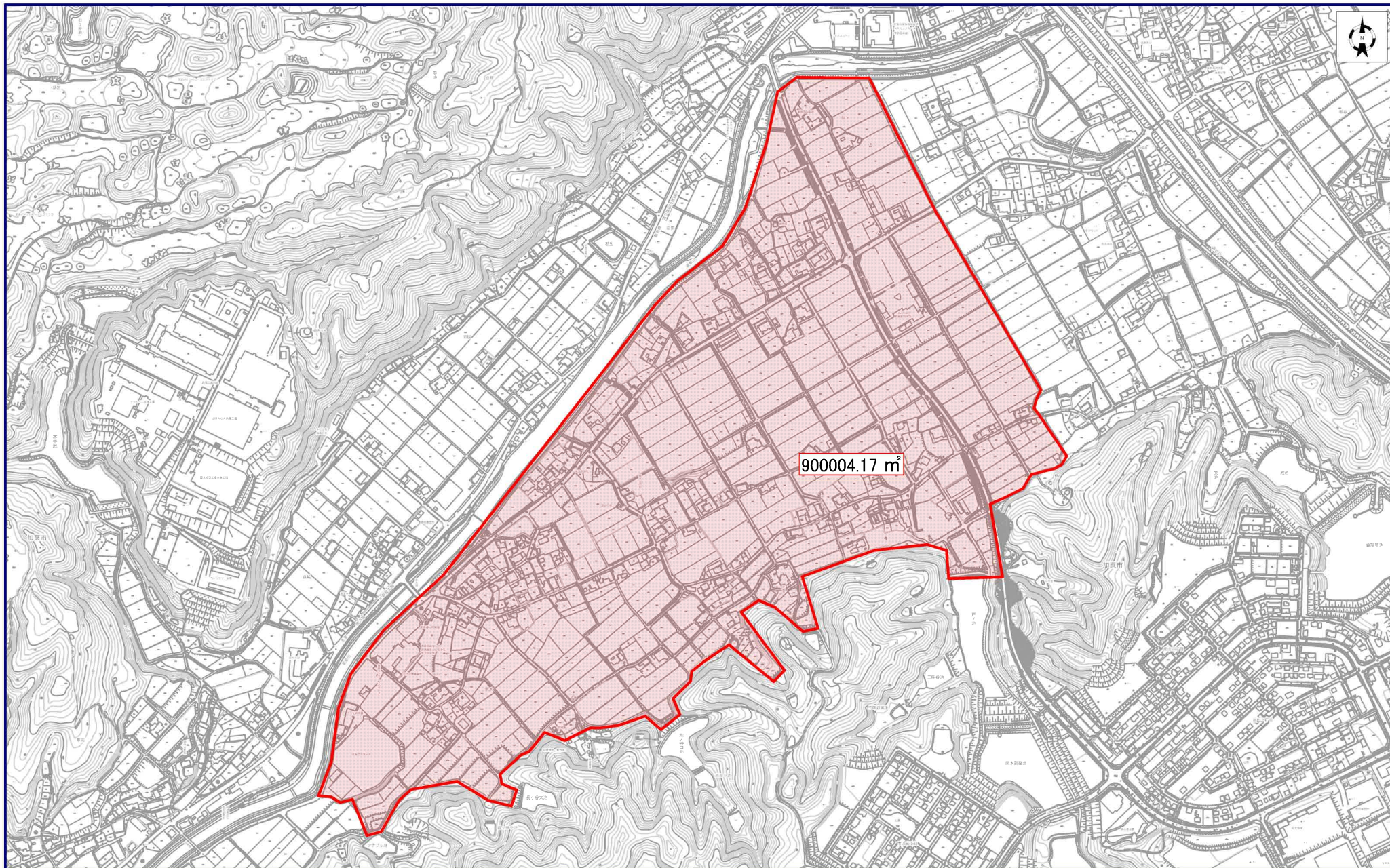
項 目		数 量	備 考
基本設計 ほ場整備(Ⅰ)(Ⅱ)		1 式	前段設計なし 難易度補正Ⅰ
打合せ	着手前	1 回	
	中間	3 回	
	最終	1 回	
環境調査(秋季)		1 式	
3次元モデル作成		1 式	
旅費交通費		1 式	打合せ分(5日)
業務報告書作成		1 式	電子納品版

・測量業務

項 目		数 量	備 考
地形測量	空中写真測量 (数値図化)	1 式	(地図情報レベル1,000)
	作業計画	0.9 km2	
	現地調査	0.9 km2	
	数値図化	0.9 km2	
	数値編集	0.9 km2	
	補則編集	0.9 km2	
	数値地形図データ ファイルの作成	0.9 km2	
一筆標高測量		58.0 ha	
業務報告書作成		1 式	

位置図



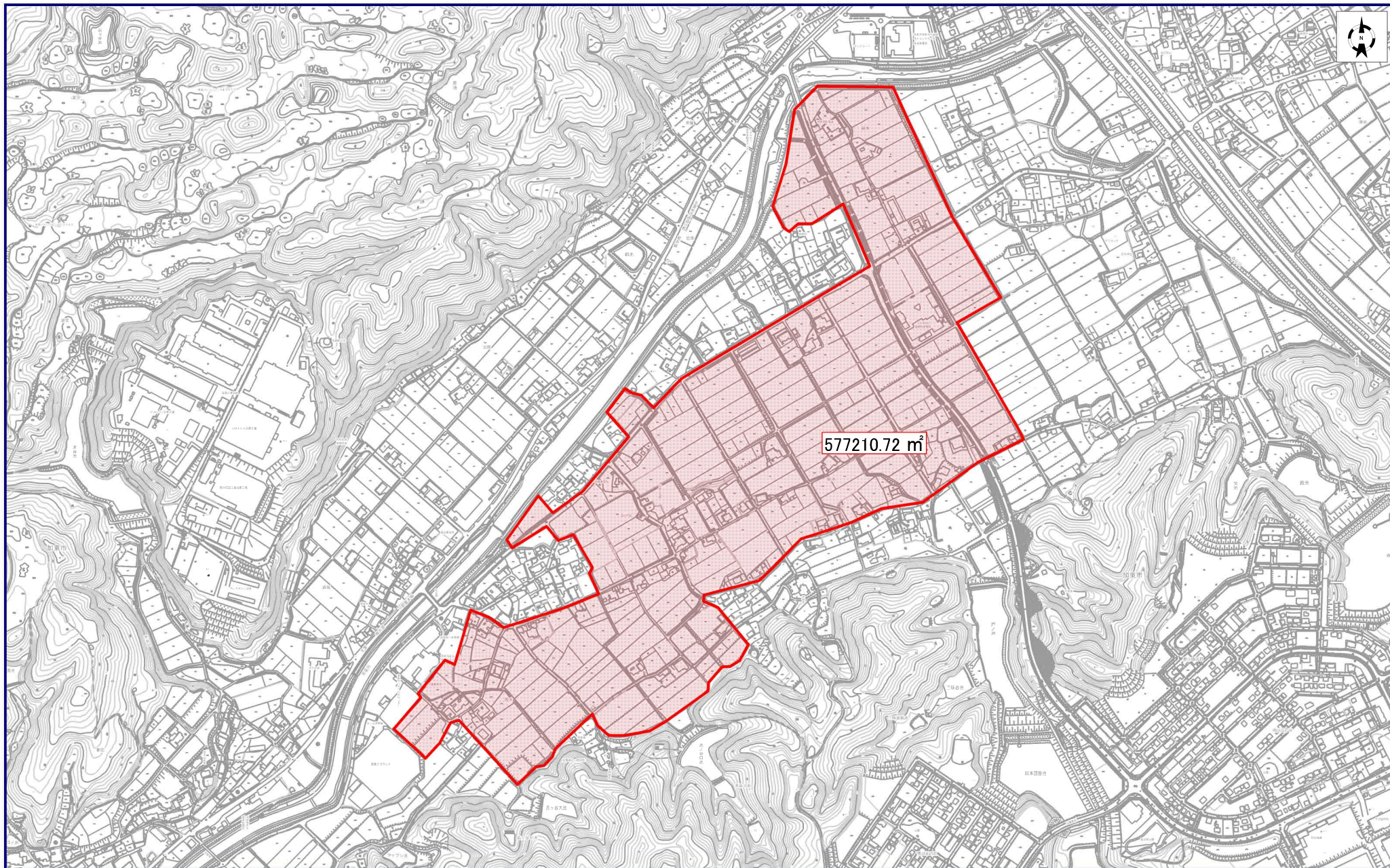


1/10000



900, 004. 17m²≒90ha

ほ場整備地形図作成業務 測量面積A=90ha



1/10000

577,210.72m²≒58ha



ほ場整備基本設計業務 地区面積A=58ha

令和 8 年度
農業競争力強化農地整備事業
岡本地区整備計画策定業務委託

仕 様 書

（ 共通仕様書
特記仕様書 ）

目 次

設計業務共通仕様書	1
測量業務共通仕様書	2
設計業務特記仕様書	3～7
測量業務特記仕様書	8～11
[別紙 1]ほ場整備基本設計 作業項目内訳表	12～15

設計業務共通仕様書

令和８年度農業競争力強化農地整備事業岡本地区整備計画策定業務委託にかかる設計業務は、農林水産省農村振興局「設計業務共通仕様書（最終改正）」に準ずるものとし、下記事項について読み替え施行するものとする。

記

- (１) 第１－１条第１項中、「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、農林水産省所管の国営土地改良事業、直轄海岸保全事業及び直轄地すべり対策事業の」とあるを「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、加東市所管の団体営土地改良事業の」と読み替える。
- (２) 第１－２条（１）「支出負担行為担当官若しくは分任支出負担行為担当官又は契約担当官若しくは分任契約担当官」とあるを、「調査職員」と読み替える。
- (３) 第１－２条（３）「監督職員」を「調査職員」と読み替える。
- (４) 第１－２条（４）を削除する。
- (５) 第１－２条（８）「「契約書」とは、「建設工事に係る設計等業務の請負契約書について」（平成８年２月２３日付け８経第２６３号農林水産事務次官通達）の別紙請負契約書をいう。」を「「契約書」とは、「建設工事請負契約書等の改正について」（平成２３年４月１日付け農第１０４３号兵庫県農政環境部農政企画局総務課長通知）の「土木設計業務等委託契約書」をいう。」と読み替える。
- (６) 共通仕様書中、契約書についての各条項は、前項の契約書に対応する各条項に読み替えるものとする。

測量業務共通仕様書

令和８年度農業競争力強化農地整備事業岡本地区整備計画策定業務委託にかかる測量業務は、農林水産省農村振興局「測量業務共通仕様書（最終改正）」に準ずるものとし、下記事項について読み替え施行するものとする。

記

- (１) 第１条第１項中、「測量業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、農林水産省所管の国営土地改良事業、直轄海岸保全事業及び直轄地すべり対策事業の」とあるを「測量業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、加東市所管の団体営土地改良事業の」と読み替える。
- (２) 第２条中、「農林水産省農村振興局測量作業規程」とあるを「兵庫県土地改良事業測量作業規程（変更承認年月日平成２８年５月２３日付け承認番号国地第７号）」と読み替える。
- (３) 第３条（１）「支出負担行為担当官若しくは分任支出負担行為担当官又は契約担当官若しくは分任契約担当官」とあるを、「調査職員」と読み替える。
- (４) 第３条（３）「監督職員」を「調査職員」と読み替える。
- (５) 第３条（４）を削除する。
- (６) 第３条（８）「「契約書」とは、「建設工事に係る設計等業務の請負契約書について」（平成８年２月２３日付け８経第２６３号農林水産事務次官通達）の別紙請負契約書をいう。」を「「契約書」とは、「建設工事請負契約書等の改正について」（平成２３年４月１日付け農第１０４３号兵庫県農政環境部農政企画局総務課長通知）の「土木設計業務等委託契約書」をいう。」と読み替える。
- (７) 共通仕様書中、契約書についての各条項は、前項の契約書に対応する各条項に読み替えるものとする。

設計業務 特記仕様書

第 1 章 総則

第 1 - 1 条(適用範囲)

本仕様書は、加東市が委託する「令和 8 年度農業競争力強化農地整備事業岡本地区整備計画策定業務委託」（以下「業務という」）に適用する。

第 1 - 2 条(事業の目的)

本業務は、農業競争力強化農地整備事業の実施計画等策定事業により整備計画を策定するため、現地調査、資料収集による地区の現況把握を行い、農業の生産効率の向上の実現に資することに必要な設計諸元を決定し、区画、用排水、道路の概略設計等に必要となる調査・測量・設計を行うものである。

第 1 - 3 条(業務の場所)

業務の対象場所は、加東市岡本地区内で別添位置図に示す区域である。

第 1 - 4 条(業務の概要)

業務の概要は次のとおりとする。

ほ場整備基本設計業務 地区面積 A = 5 8 h a

第 1 - 5 条(履行期間)

契約締結日の翌日 から 令和 9 年 3 月 3 1 日 までとする。

第 1 - 6 条(一般事項)

技術士法(昭和 58 年法律第 25 号)に基づく技術士「農業部門の農業農村工学又は農業土木」、「総合技術監理部門の農業-農業農村工学又は農業土木」又は RCCM「農業土木部門」のいずれかの資格を有する自社の正社員(公告日現在で 3 箇月以上の雇用契約がある者)を本業務に管理技術者及び照査技術者として配置しなければならない。ただし、各技術者の兼務はできないものとする。

第 1 - 7 条(土地の立入り)

民地に立ち入り、調査等を行う際には、身分証明書を掲示した上で、土地所有者の了解のもとで立ち入ることとし、作業に伴う立木伐採等の必要が生じた際には、調査職員と打ち合せを行った後に、地権者への了解を得て行うものとする。

第1－8条(疑義)

受注者は、業務遂行上疑義が生じた場合又は、本仕様書に明記されていない事項等については速やかに調査職員へ報告し、発注者及び受注者双方で協議の上、別途定めるものとする。

第1－9条(情報管理及び情報保護対策)

本業務で取り扱う情報については、個人情報のもとより、発注者より貸与されたいかなる資料及び情報も適正に管理しなければならない。

第2章 計画策定条件

第2－1条(作業の内容)

作業の内容については、「[別紙1]ほ場整備基本設計 作業項目内訳表」によるものとする。

第2－2条(示方書、参考文献等)

作業に適用または準用する基準書及び参考文献等は以下のように考えており、他のものを適用する場合は調査職員の承諾を得ること。

名 称	発行所
兵庫県土地改良技術基準	兵庫県
農林水産省農村振興局測量作業規定	農林水産省
土地改良事業計画設計基準・設計「ダム」、「水路工」	(社) 農業農村工学会
土地改良事業設計指針「ほ場整備」	(社) 農業農村工学会

第2－3条(貸与資料等)

貸与資料は下記のとおりである。

名 称	発行所
兵庫県土地改良技術基準	兵庫県
ため池台帳	加東市
令和4年度水利施設等保全高度化事業 岡本地区パイプライン調査設計業務委託 成果品	加東市

第3章 計画策定内容

第3－1条(現地調査)

作業内容は「[別紙1]」によるものとし、作業着手前に調査職員に調査方法等を十分に説明

したのちに調査に着手すること。

第3－2条(資料の検討及び収集)

作業内容は「別紙1」によるものとし、市に対して貸与又は提供を求める資料がある場合には、書面により請求し、貸与資料に関しては借用書を提出すること。

第3－3条(計画・設計諸元検討)

作業内容は「別紙1」によるものとし、区画形状等については途中段階において地元説明会を開催し、意見を反映したうえで最終の取りまとめを行うこと。

第3－4条(環境調査)

1. 現地踏査を1季(秋季)行い、得られた調査結果について生物相の概略を平面図などにまとめ、調査対象区域における生物の生息状況が簡潔に把握することのできる資料を作成するものとする。
2. 調査対象区域内に保護すべき生物種や植物群落、環境などが確認された場合、それらの保全対策に向けた調査の方法や保全対策などについて検討を行う。

第3－5条(計画策定作業の留意点)

作業遂行上の留意点は次のとおりである。

1. 現地立ち入り調査の了解とりつけは発注者が行う。
2. 作業を遂行する上で既存資料が不十分な場合の作業方針については協議するものとする。
3. 各対策案の決定に当たっては、事前に協議するものとする。
4. 業務完了後であっても事業採択までの間に成果品の内容に修正の必要が生じた場合は、発注者と協議の上、誠意をもって対応すること。
5. 現地踏査の報告結果により、設計作業項目、測量等の業務の追加を行う場合がある。その場合は発注者、受注者で協議を行い、両者同意の上、設計変更を行う。

第4章 コスト縮減

第4－1条(コスト縮減対策)

1. 受注者は、業務の遂行に当たっては、兵庫県「公共事業コスト縮減のためのガイドライン」(URL http://web.pref.hyogo.jp/wd03/cost_top.html)の趣旨を理解し、事業の実施において最大限コスト縮減が図られるよう「設計」段階チェックリストに基づきコスト縮減のために取り組むべき施策の有無を検討すること。

2. 受注者は調査職員の指示する検討施策のほかに、受注者自らが可能なコスト縮減施策について、積極的に提案すること。
3. また、調査職員自らが取り組むべき施策についてもコスト縮減に寄与すると考えられる場合は、調査職員に提案し協議すること。

第4-2条（コスト縮減の取組み）

1. 受注者は、協議打合せ時に決定した取り組むべき施策に対し、これまでのコスト縮減に関する取り組み事例、自社の経験などに基づき、具体的内容を提案すること。

（参考）

国土交通省「コスト縮減の知恵袋」

（URL <http://www.mlit.go.jp/tec/chiebukuro/>）

2. 受注者は、調査職員の承諾が得られた提案について、本業務成果に反映させること。
3. チェックリストに基づくコスト縮減のための設計業務については、原則として技術経費に含むものとし設計変更の対象としない。
4. 設計業務に必要となる測量・調査等の追加業務や当初設計の目的物と著しく内容変更が生じる場合は、調査職員との協議による。

第5章 打合せ

第5-1条(打合せ)

打合せの時期及び回数は下記によるものとし、主要な段階には管理技術者が出席すること。

また、調査職員及び地元等との打合せにおいては、打合せ記録簿を作成するものとする。

- | | |
|-----|-------------------------|
| 第1回 | 着手前（作業内容と作業方針） |
| 第2回 | 中 間（全体基本計画取りまとめ時（途中段階）） |
| 第3回 | 中 間（地元説明会への参加） |
| 第4回 | 中 間（地元説明会への参加） |
| 第5回 | 最 終 |

第6章 成果品

第6-1条(成果品)

本業務の成果品は下記のとおりとする。

- | | |
|----------------------|-----|
| （1）完成図書（市販のファイル綴じで可） | 2 部 |
|----------------------|-----|

(2) 完成図書の電子データ (CD-R)

2 部

第 7 章 契約変更

第 7-1 条(契約変更)

特記仕様書に規定する甲乙協議事項は下記のとおりとする。

1. [別紙 1] に示す作業項目及び内容に変更が生じる場合
2. 第 5-1 条に示す「打合せ」の回数に変更が生じる場合
3. 第 3 者との協議による場合
4. 工期の変更が生じる場合

測量業務特記仕様書

第1条(適用範囲)

本仕様書は、加東市が委託する「令和8年度農業競争力強化農地整備事業岡本地区整備計画策定業務委託」(以下「業務という」)に適用する。

第2条(事業の目的)

岡本地区の現況形状を把握し、整備計画策定の基礎資料とする。

第3条(業務の場所)

測量作業位置は、兵庫県加東市岡本地区で別図(位置図)に示すとおりである。
測量範囲については現地の状況により、増減することがある。

第4条(業務の概要)

業務の概要は次のとおりとする。

ほ場整備地形図作成業務 測量面積A=90ha

第5条(一般事項)

業務委託契約書と共通仕様書に記載されている以外の一般事項は次のとおりである。

1. 作業実施の順序、方法等は調査職員と密な連絡をとり、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 本業務を実施するにあたっては主任技術者を定めなければならない。主任技術者は測量業務に精通しているほか、次に定める資格の何れかを有する者、またはこれと同等の能力と経験を有するものでなければならない。
 - ・測量法に基づく測量士または測量士補

第6条(示方書、参考文献書)

本業務に適用または、準用する示方書、参考文献等の取扱いの注意点は次のとおりである。

1. 測量作業の基本的事項に関しては、兵庫県土地改良事業「測量作業規程」を適用する。
2. 測量作業に適用または準用する示方書、参考文献等は下記のとおりとする。なお、記載事項で相互に矛盾がある場合や字句の解釈に疑義が生じた場合は、事前に調査職員の指示を受けるものとする。
 - (1) JISA 0101 土木製図(通則)
 - (2) 土木学会発行「土木製図基準」

第7条(作業計画)

受注者は、調査職員と協議の上、本業務の目的を十分把握して、合理的かつ能率的に作業を遂行するため、各工程における基本方針を定め、適切な技術者の配置、使用機器の選定及び細部にわたる作業計画等を検討立案するものとする。

第8条(地形図作成)

本業務における地形図は、縮尺1:1,000スケールとし、作成手法は現地測量(直接測量)又は、市の空中写真を使用した航空測量により、ほ場整備設計に対応できる精度での数値地形図を作成するものとする。

(1) 現地調査

現地調査は、数値地形図を作成するために必要な各種項目について現地確認を行うものとする。また、既設構造物については、その名称、規格等を確認する。

(2) 数値図化(空中写真測量)

数値図化は、市が貸与する空中写真成果を用い、デジタルステレオ図化機を用い、地形、地物等の座標値を取得し、数値化データを記録するものとする。

又、細部数値図化に関しては、スクリーンモニターを確認し、データの取得漏れが無いように注意すること。

数値地形図データを精度については、水平位置の標準偏差は0.70m以内、標高点の標準偏差は0.33m以内、等高線の標準偏差は0.50m以内を標準とする。

標高点は、地形、地物判読を効率的に行うため、努めて均等な密度に分布するように選定するものとし、測定回数は2回とする。

数値図化の点検は、数値図化終了後に面積の2%の点検測量を行い、数値図化データと再数値図化データを重ね合わせて点検を行うとともに、空中写真及び現地調査資料等を基に、次の項目について照査確認を行うものとする。

- ① 取得漏れ及び過剰並びに平面位置及び標高の誤りの有無
- ② 地形、地物の接合の良否
- ③ 標高点の位置、密度及び測定値の良否
- ④ 地形データの表現性
- ⑤ その他必要な項目

(3) 一筆標高測量

地形補備測量の範囲及び測定地点は、後続作業となるほ場整備事業の調査設計業務をよく理解し、次の事項に留意して直接 TS 等により実施するものとする。

- ① 田畑標高の測定は各 1 点とし、一筆面積が大きいものまたは傾斜地形については 2 点以上測定するものとする。
- ② 道路・水路・河川等線状物については、屈曲点・交差・分岐点・勾配変化点等必要な地点は必ず測定するものとする。
- ③ 前項に付帯する構造物の上下流あるいは出入口・堤塘・桶管・堰・暗渠・取水口・排水口・余水吐出口等設計上必要と思われる地点は全て測定するものとする。
- ④ ほ場に接する宅地等については、高さを測定し、図上に測点を表示するものとする。
特に変化点がある場合には、複数点計測するものとする。
- ⑤ 測定した値は、cm単位で記入するものとする。

(4) 数値編集

数値編集は、各種地図表現事項の誤り、データの整合を図るとともに、地名・名称等の入力及び編集を行い、次の事項に留意して数値編集済みデータを作成するものとする。

- ① 数値編集は現地調査等の資料に基づき編集装置を用いてデータの追加、削除等の加工を行い、数値図化データ(X、Y)値を作成するものとする。
- ② 注記データについては、字隔、文字数、縦書き、横書きの区分、文字の代表点及び方向を入力するものとする。
- ③ 標高点は原則として、指示点右側に表示する。
- ④ 点検及び再点検は、現地調査資料等を参考にして、編集されたデータを静電プロッタにより1/1,000で出力し、少なくとも次の事項について行うものとする。
 - ア、図郭間の不合理の有無
 - イ、接合の良否
 - ウ、注記の誤記、脱落の有無
- ⑤ 数値編集終了後、注記を色付けた図面を作成し、位置及び注記等について調査職員の点検を受けるものとする。

(5) 現地補測及び数値補測編集

数値補測編集は、編集済みデータ出力図に表現されている重要な確認及び必要な部分の現地補足を行い、編集済みデータに追加、修正等の処理を行うことにより補測編集済みデータを作成するものとする。

(6) 数値地形図データファイル作成

数値地形図データファイルの作成とは、補測編集済みデータを仕様に従って電子記録媒体に記録して作成するものとする。

(7) 既設平面図結合

既設平面図結合は、本業務で作成した地形図データ(レベル 1,000)と発注者が貸与する地形図データ(レベル 2,500)を結合して数値データ化するものとする。

第9条(3次元モデル作成)

本業務は、地権者等への計画の説明資料や合意形成、手戻り防止、後工程での活用のため、3次元モデル作成を行うものとする。

1. 現況地形は兵庫県の公開する高精度3次元データを利用しサーフェスを作成するものとする。必要に応じて航空写真データを貸与する。
2. 計画図の3次元図はサーフェスにより、詳細度 200(BIM/CIM 活用ガイドライン第3編7ページ)とする。ほ場の区画や農道、畦畔、排水路、法面、現況地形、貯水池等がおおむね確認できる程度に表現するもの(1.5m未満の高さのものも含む)とし、農道、畦畔、排水路、法面を含め縦横断面高を持たせ、任意の位置で断面形状を確認できるようにすること。ただし、給水栓や排水口、頭首工、階段、堰、ピット、ポンプなどの構造物や設備は表現しないものとする。
3. 配色は協議により決定するものとする。(BIM/CIM 活用ガイドライン第3編39ページ図3-4相当を想定する。)

第10条(作業の留意点)

測量作業上、特に留意する点は下記のとおりである。

1. 本測量作業のため国有地、公有地又は私有地に立入る場合には、調査職員及び関係者と十分な協調を保ち、業務が円滑に進行するように努めなければならない。
2. 測量に際して支障となる立木伐採については、事前に調査職員に連絡するとともに、所有者の承諾を得て伐採するものとする。
3. 伐採は、業務遂行上必要最小限に止めると共に伐採木等は付近に整理し、トラブル等が生じないように留意するものとする。
4. 作業実施にあたり、付近の農作業に支障のないよう十分注意し、農地への立入は作業遂行上必要最小限とするものとする。
5. 農地へ立ち入る場合は、事前に地権者等の了解を得た上で、農作物に被害を与えないよう作業を行うものとする。
6. 測量杭を農地・道水路に設ける場合は、利用者に支障のないようするとともに、控え杭を設けるものとする。

第11条(成果品)

1. 本業務は電子データを(CD-R)で正副2部提出するほか次のとおりとする。
 - (1) 電子データ成果物の出力 2部(市販のファイル綴じで可)
2. 成果品の提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第12条(契約変更)

特記仕様書に規定する甲乙協議事項は下記のとおりとする。

1. 業務内容に変更を生じる場合
2. 工期に変更が生じる場合
3. その他

[別紙 1] ほ場整備基本設計 作業項目内訳表	
作 業 項 目	作 業 内 容
1. 現地調査	
1-1. 現地踏査	地区内を踏査し、把握する。
1-2. 土壌調査	計画対象地区の土壌現況を把握し、土壌分類図 (1/5,000) を作成するため、試坑し土壌断面の観察、分析試料の収集を行う。又、検土杖による試穿調査を行う。
1-3. 地耐力調査	コーンペネトロメーターによる地耐力調査を全域について行う。
1-4. 減水深調査	用水計画樹立に必要な代掻水深、減水深を各土壌別に 2～3 箇所実測する。
1-5. 道路用排水系統調査	計画樹立に当たって計画対象地区の現況道路、用排水系統を十分把握し各々の系統図 (1/5,000) を作成するため、現地踏査、聞き取り調査等を行う。
1-6. 現況施設調査	現況施設の構造、規模、製造年月日及び利用状況を調査する。
1-7. 反復水量調査	地区を代表する地点 2 箇所程度を選定し、かんがい期間に 3 回程度反復水量を実測する。
1-8. 水源流量調査	計画取水地点又はその近傍で長期の流量観測を実施し、低水解析の資料を収集する。
1-9. 補償物件調査	事業実施に当たり補償すべき物件（電柱・水道・電話ケーブル等）を調査する。
1-10. 各種施設の取付点標高調査	主要施設取付点の標高測量を行う。
1-11. 各種取付点平面位置調査	計画主要施設及び各種施設取付点の平面測量 (1/100～1/500) を行う。
1-12. 地下水調査	新規水源等を地下水に依存する地区の電探、揚水試験による地下水の利用可能量を調査する。
2. 資料の検討及び収集	
2-1. 資料収集	基本設計のための貸与資料を整理し、内容を把握するとともに、作業計画を樹立する。
2-2. 水文、気象資料	気象台、観測所等観測資料保有機関から資料を収集する。
2-3. 経済効果算定資料	関係市町村、土地改良区、農協、普及所等から基礎資料を収集する。
3. 計画・設計諸元検討	

3-1. 用水計画基準年	渇水量、有効雨量、連続旱天日数等確率計算により 1/10 確率に相当する計画基準年を決定する。
3-2. 排水計画基準雨量	日降雨記録を確率計算し、1/10 及び 1/2 確率の排水基準雨量を決定する。
3-3. 現況計画減水深	減水深の実測資料を分析し、土壌別の現況及び計画の代掻水深、減水深を決定する。
3-4. 区画形状の検討	地形、営農、導入機械規模及び道路体系から地区に適した標準区画を決定する。
3-5. 道路規模の検討	用地構成、営農、導入機械規模、道路体系等を考慮し道路規模、配置を決定する。
3-6. 計画平面図作成	地区及びその周辺の自然条件、用排水系統、道路体系等を勘案して、地区内の用排水路、道路の配置、ほ区、耕区の決定を行い、現況計画平面図（1/1,000）を作成する。
3-7. 面積算定	1/1,000 図上で、三斜法又は座標読取機の使用により面積を測定し、各種計画が樹立できるようまとめる。
3-8. 道路用排水路縦断計画	縦断図を作成することなく、地形勾配から各路線毎の平均勾配を決定する。幹線規模の道路、用排水路縦断図を作成する。
3-9. 計画用水路	路線別に計画断面決定に必要な用（通）水量を決定するとともに用水系統模式図を作成する。
3-10. 用水収支計算	基準年について、現況及び計画の水源別半旬計算を行う。
3-11. 用水路水理計算	
3-11-1. 用水路及び樹枝状管水路	路線毎の平均勾配に基づく水理計算を行う。
3-11-2. 管網管水路	1 ほ区 2～3 箇所の出出点を設定した管網計算を行う。
3-12. 計画排水量	路線別に計画断面決定に必要な排水量を決定するとともに、排水系統模式図を作成する。
3-13. 排水路水理計算	路線毎の縦断計画に基づく水理計算を行う。
3-14. 湛水計算	湛水ブロック毎に排水収支計算を行い計画田面高、計画ポンプ容量の概略値を決定する。
4. 施設設計	
4-1. 道路、用排水路標準断面図作成	道路、用排水路について各タイプ別に標準断面図を作成する。
4-2. 附帯施設設計	工種別、タイプ別に標準構造図を作成する。

4-3. 整地計算	現況地形、現況筆数等からブルドーザー運転時間を計算する。
4-4. 暗渠排水施設設計	土壌調査結果より、標準的な暗渠の配置、規模の決定と暗渠排水区域を決定する。
4-5. 数量計算	概略数量計算を行う。
5. 機場工	
6. 送排水管路工	
6-1. 水理計算、構造計算	水理計算及び標準断面における構造計算を行い、管種を選定する。
6-2. 附帯工設計	工種毎の標準構造図を作成する。
6-3. 数量計算	概略数量計算を行う。
7. 農道橋梁工	
7-1. 設計図作成	標準設計を利用し概略計画図を作成する。
7-2. 数量計算	概略数量計算を行う。
8. 水管橋工	
8-1. 設計図作成	計算図表等を利用した概略構造計算を行い、概略計画図を作成する。
8-2. 数量計算	概略数量計算を行う。
9. 県町村道横断工	
9-1. 設計図作成	概略設計図を作成する。
9-2. 数量計算	概略数量計算を行う。
10. 河川放流工	
10-1. 設計図作成	水理計算により断面を決定し、概略計画図を作成する。
10-2. 数量計算	概略数量計算を行う。
11. 概算工事費積算	市販の物価版・工事歩掛等を用い、㎡当たり、箇所当たり等の単価を作成し概算工事費を算定する。
12. 経済効果算定	
13. 計画概要書添付図面等作成	
13-1. 添付図面作成	1/5,000 図面を作成する。
13-2. 添付図面着色	1/5,000 図面を着色する。(17 種)
13-3. 計画概要書作成	所定様式により、計画概要書を作成する。
13-4. 事業計画書作成	所定様式により、土地改良事業計画書を作成する。
14. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。

1 5. 点検取りまとめ	設計計算書、図面等の点検取りまとめを行う。（報告書作成を含む）
1 6. その他	
16-1. 環境調査	当該地区の生態系（主に植物、水生生物）を把握するための環境調査を実施し環境配慮カルテを作成する。 1 季（春・秋の実施予定のうち、今回は秋季）
16-2. 3 次元モデル作成	地権者等への計画の説明資料や合意形成、手戻り防止、後工程での活用のため、3 次元モデル作成を行う。